

2020年3月に設立

「おたがいさま西濃」のたすけあい活動を紹介します!

Interview01

副代表の黒田さんにお話を伺いました!

おたがいさま西濃の応援者は45人(11月15日現在)です。コロナ禍での立ち上げとなり、最初は思うように活動が進みませんでしたが、少しずつ活動時間が増えてきています。

おたがいさまに寄せられる依頼は草取りや掃除、産後のケアなど、その方の暮らしによって様々です。応援者さんも得手不得手がありますので、コーディネーターとして両者をつなぐのが難しい時もありますが、まずはその人が何に困っているかを聞いて、おたがいさまとしてどこまでできるのかを考えて、寄り添うことを大切にしています。

些細な応援でも感謝していただけるのが嬉しいですね。これからおたがいさまの活動が広がり、「生協では困っているのを助けてくれる所がある」と思ってもらえて、地域の中で頼りにしていただけたらと思っています。



▲おたがいさま西濃設立総会



◀副代表の黒田さん

応援例

一人暮らしをされているKさんから、11月に窓ふきの依頼があり、応援者のNさんとIさんがKさんと一緒に窓ふきを行いました。

利用者のKさんは「田舎の大きな家なので、1人でやろうと思っても中々やる気が起きません。近所の方とも付き合いが希薄になっていますし、友人にも頼みづらいですね。今日は応援者の方に手伝ってもらっているので、私も一緒に頑張ります」と喜ばれていました。友人からの紹介でおたがいさまを知り、ほぼ毎年依頼をされています。



▲Kさん宅での応援の様子



Interview02

応援者のNさんとIさんに、活動についてお話を伺いました!



応援者のNさん(左)とIさん(右)

Nさん

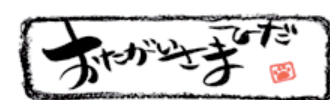
応援者としてはじめての応援はすごく緊張しましたが、「私たちはプロでない。自分にできる範囲のことをやろう」と思えたことで、とても気が楽になりました。置いてあるものや使われている材質など、自分の家とは違うことが多いので、一つひとつ利用者の方に確認しながら進めていくという事を大切にしています。

Iさん

私は去年の7月まで仕事をしていました。ずっと家にいるよりも外に出たいので、おたがいさま西濃で何かできることがあればと、応援者登録をしました。今回の窓ふきが初めての応援でした。Nさんと一緒だったので安心して作業できました。

利用したい方、応援活動をしたい方、お気軽にご相談ください!

※応援費・活動費...お手伝いする人に支払われます。



おたがいさま ひだ
TEL:0577-32-8986

受付 10:00~15:00(土・日・祝・年末年始休み)
利用料 900円~/時(30分以内 500円~)
※応援費 700円~/時
対応エリア:飛騨市、高山市



くらしたすけあいの会 TEL:058-370-6876

受付 10:00~16:00(土・日・祝・お盆・年末年始休み)
利用料 1,000~1,200円/時(年会費1,000円必要)
※活動費 800~1,000円/時
対応エリア:おたがいさまひだ、東部、西濃のエリア以外の岐阜県内



おたがいさま 東部
TEL:080-5812-5208

受付 10:00~16:00(土・日・祝・年末年始休み)
利用料 800円~/時
※応援費 600円~/時
対応エリア:多治見市・土岐市・瑞浪市・恵那市・中津川市・可児市・美濃加茂市・加茂郡・御嵩町



おーくん&えんちゃん

おたがいさま 西濃 TEL:070-2242-8377

受付 10:00~15:00(土・日・祝・年末年始休み)
利用料 1,000円~/時 ※応援費 700円~/時
対応エリア:大垣市を中心にした近隣地域



“おたがいさま”の心でたすけあう

くらしの

たすけあい活動



コープぎふはSDGsの実現に向けて取り組みます。



忙しい日々の生活の中、「こんなときどうしよう...」「誰かの手を借りたい!」と思うことは誰にでもあるはず。また反対に、「困っている人の役に立ちたい」と思っている人もいます。コープぎふでは、そうした思いをつないで助け合いの輪を広げる「くらしのたすけあい活動」を行っています。今回はその活動や参加者の声を紹介します!

「くらしのたすけあい活動」とは?

「困ったときはおたがいさま」を合言葉に、困っている人とお手伝い出来る人とをつなぎ、安心して暮らせる地域づくりをすすめる有償ボランティア活動です。特別な技術を使っている専門的な応援ではなく、日常の経験やくらしの知識を活かした活動をしています。

「くらしたすけあいの会」「おたがいさま」は有償のたすけあい活動です



例えば

- 旅行で留守にしている時、庭木の水やりをして欲しい
- 産前産後のお手伝いをして欲しい
- 実家で一人で暮らす親のお手伝いをお願いしたい
- 下の子を病院に連れていく時、上の子をみていて欲しいなど、ちょっとしたことでもお互いに支え合うことで、みんなが安心して暮らすことができます。

他にも

「活動はできないけれど、資金援助で協力したい」という応援も、たすけあい活動の輪を支えています。